

「女性の活躍」に関する 社会調査結果

2014年7月22日

本田由紀

プラチナ構想ネットワーク 女性の活躍WG 主査
東京大学大学院 教育学研究科 教授

女性の活躍WGのこれまでとこれから

第1回 女性の活躍を阻む要因は何か〔Ⅰ〕【2013年9月】

第2回 女性の活躍を阻む要因は何か〔Ⅱ〕【2013年10月】

第3回 女性の活躍を阻む要因への対応方法【2013年12月】

第4回 地域、企業戦略としてのWLBと女性の活躍【2014年2月】

第5回 わが国の先進事例に学ぶ女性の活躍【2014年3月】

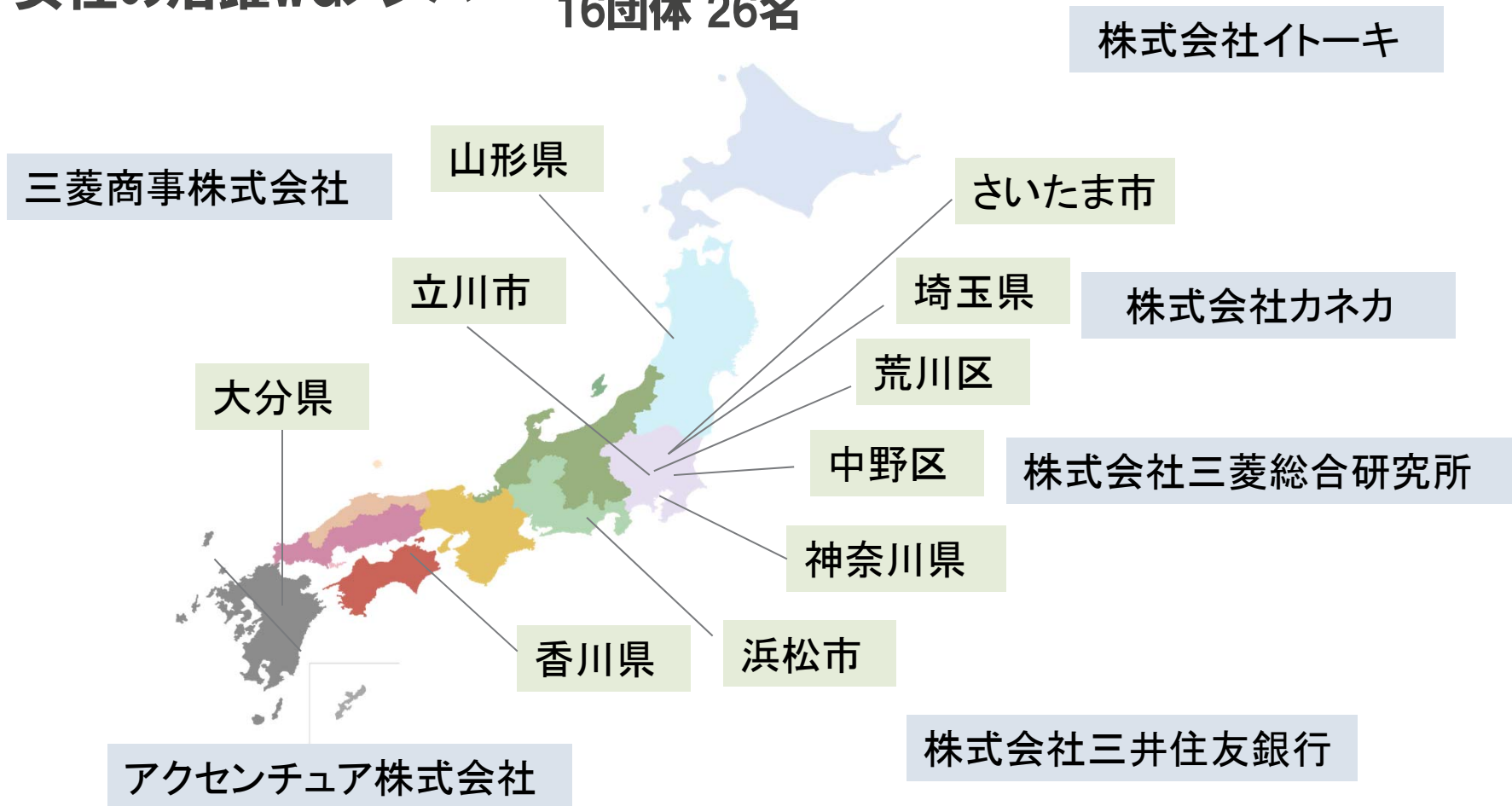
第6回 女性の活躍を実現するために〔Ⅰ〕【2014年4月】

第7回 女性の活躍を実現するために〔Ⅱ〕【2014年7月】

第8回 総括に向けての議論【2014年8月】

女性の活躍WG

女性の活躍WGメンバー 16団体 26名



調査の問題関心

「女性の社会進出」「男性の家庭進出」

① 良い面がある、すばらしいこと

「仕方がないがやらなければならないこと」ではなく、
「とても良い面がある、すばらしいこと」として捉えられないか

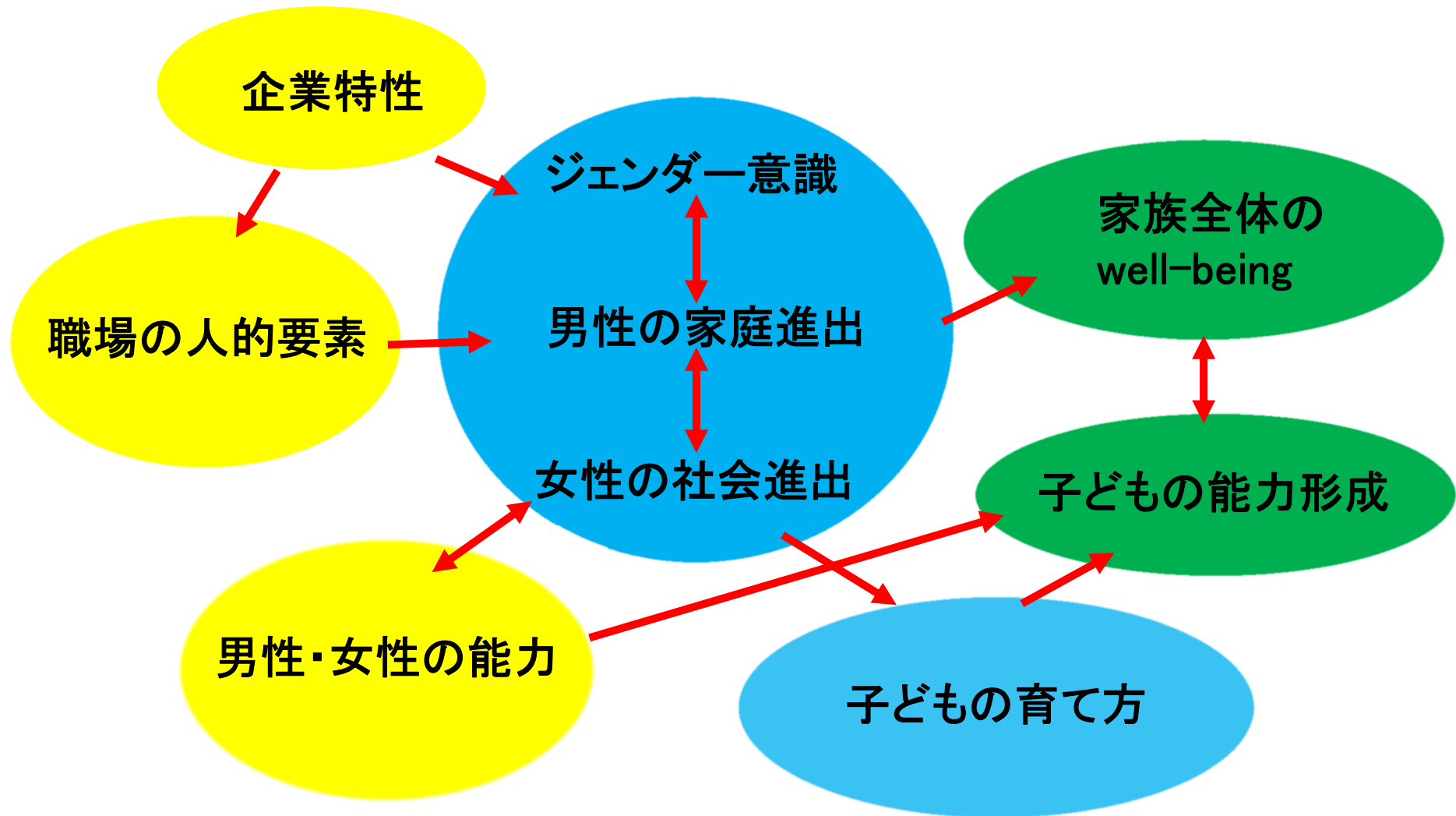
② 家族・子どもにとっても良い面がある

経済成長・企業利益・少子化対策だけでなく、家族間の関係・
子どもの能力形成などの「良い面」を見いだせないか

③ 障害/促進要素をより多面的に検討

たとえば、職場の人的要素・本人の能力など

分析枠組み



調査概要

■調査票タイトル	「女性の活躍」に関するアンケート
■調査方法	インターネットリサーチ
■実施機関	株式会社マクロミル
■実施期間	2014年05月13日(火)～2014年05月15日(木)
■割付条件	下記の通り(有効サンプル合計2067)

		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	計
男性	既婚	38	163	185	197	1037
	未婚	181	128	84	61	
女性	既婚	52	188	199	209	1030
	未婚	162	98	67	55	
計		433	577	535	522	2067

主な変数1/2

男性の家庭進出 「カジメン」

家事(ここでは育児・介護も含む)分担比率が40%以上の既婚男性

女性の社会進出 「バリキャリア/ゆるキャリア/ハウスワイフ」

昨年年収が順に300万円以上、300万円未満、収入なしの既婚女性

上記と相反する意識 旧ジェンダー意識スコア

「家族を養い守るのは男の責任だ」「夫よりも妻のほうが収入が高いのはいやだ」「子どもをきちんと育てるためには、子どもが3歳になるまで母親が家にいたほうがいい」「女性が男性を立てると物事がうまく運ぶことが多い」といった、性別役割分業や男尊女卑を肯定する意識
因子分析によって算出したスコア

主な変数2/2

職場の人的要素 「粘土層」

「家庭と仕事の両立に理解のない中高年男性」

職業能力の内実 「スキル・資格」「性格・態度」

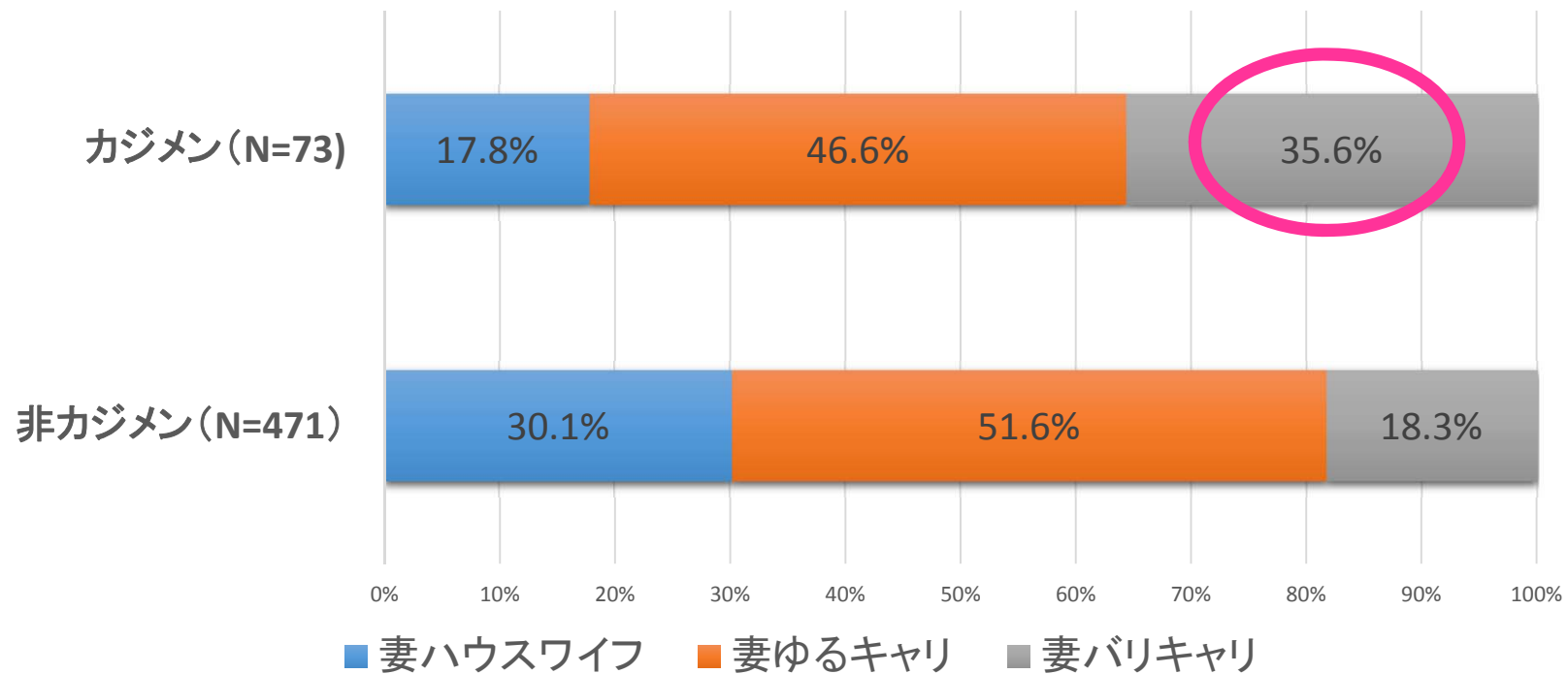
仕事上の「強み」に関する自由記述をアフターコーディング

自分/子どもの能力形成 (自分/子どもの)「てきぱき度」「はきはき度」

(自分/子どもは)「ものごとをてきぱきと進められるほうだ」
「自分の意見をはっきり言えるほうだ」の設問
「まったくあてはまらない」=1点、「あまりあてはまらない」=2点、
「まああてはまる」=3点、「とてもあてはまる」=4点として点数化したもの

夫がカジメンの場合に、妻はバリキャリアが多い

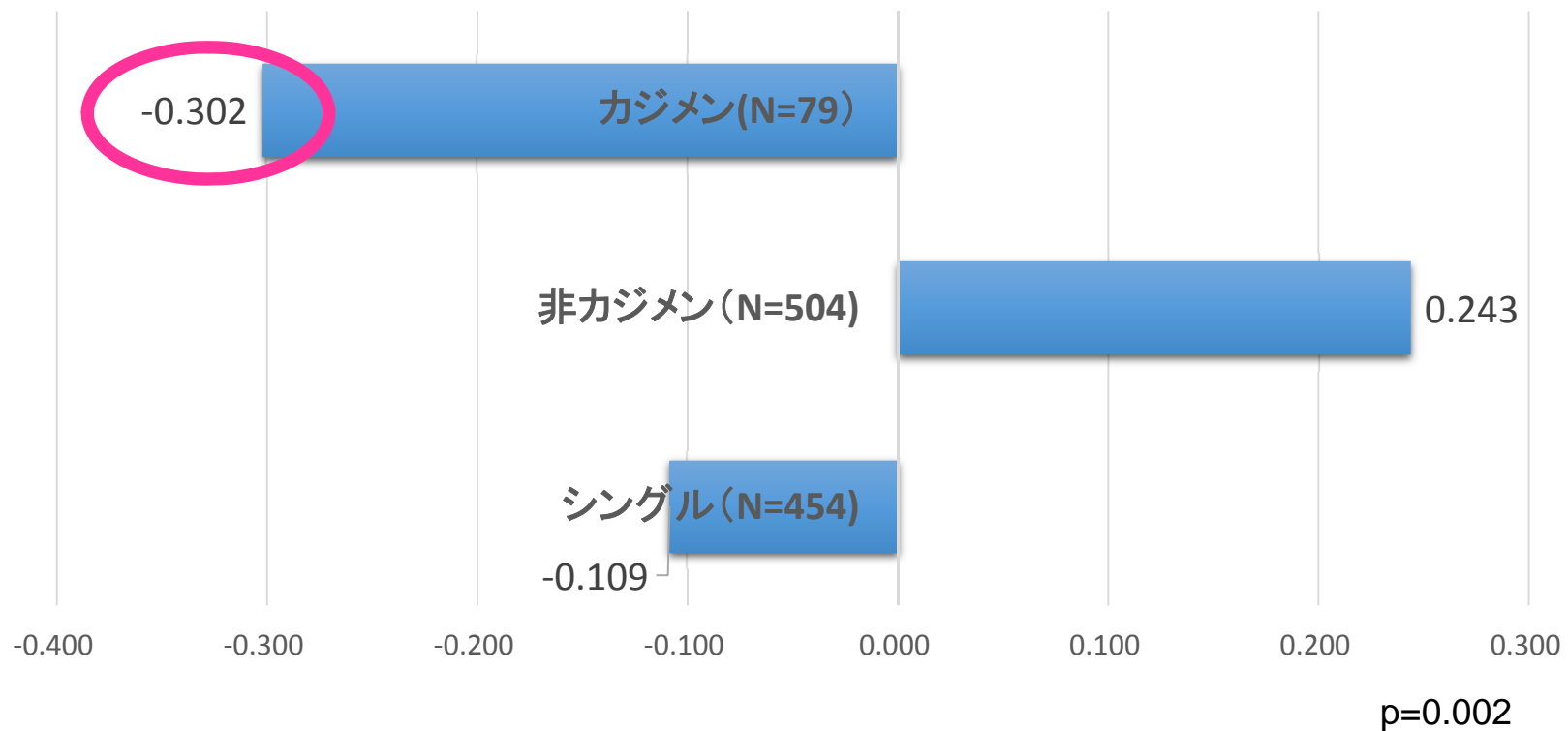
夫カジメン／非カジメン別 妻ハウスワيف／ゆるキャリア／バリキャリア(既婚男性)



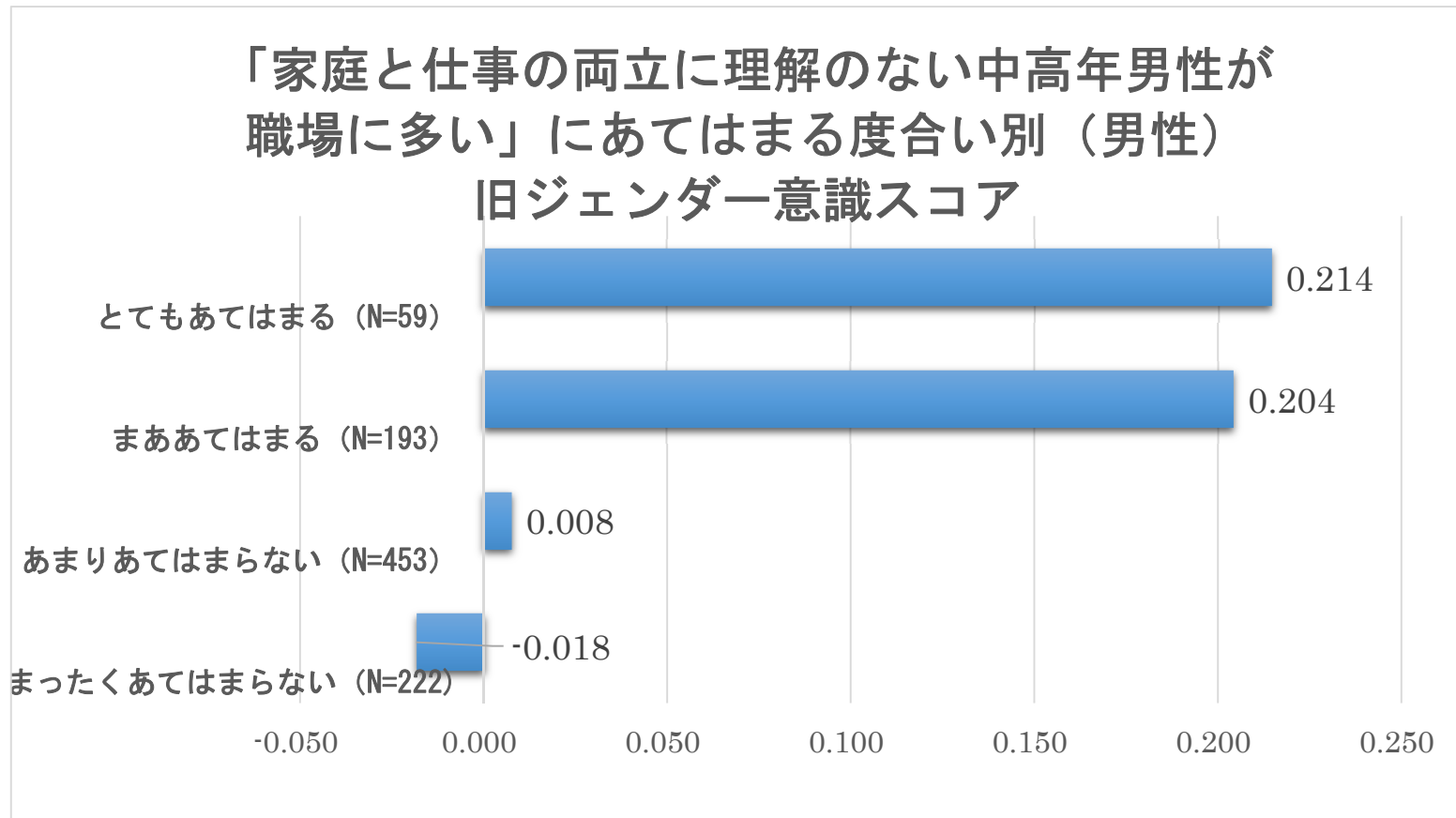
p=0.002

カジメンは旧ジェンダー意識が弱い

カジメン／非カジメン／シングル別
旧ジェンダー意識(男性)

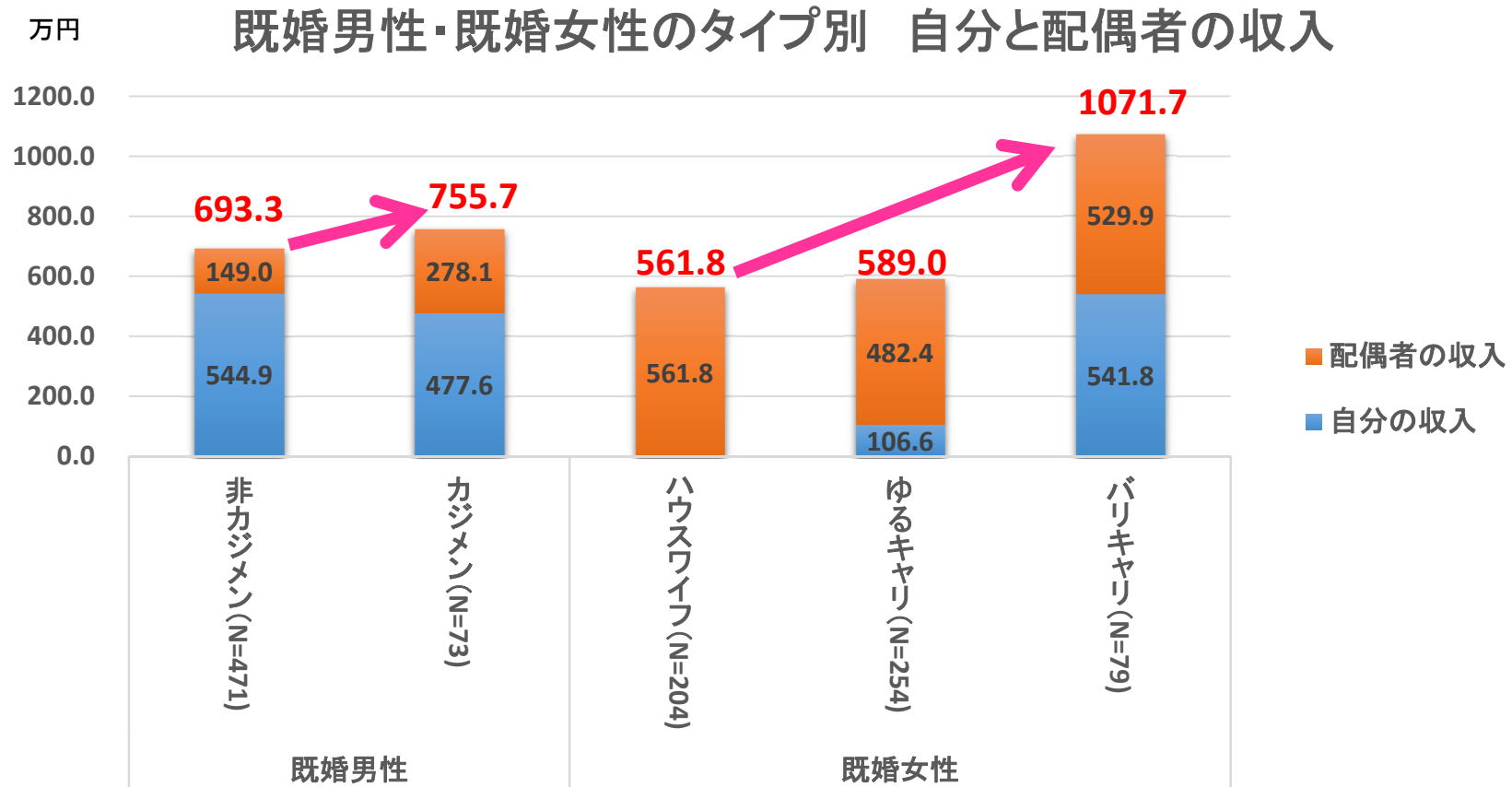


粘土層が多い職場で働いている男性は 旧ジェンダー意識が強い



p=0.009

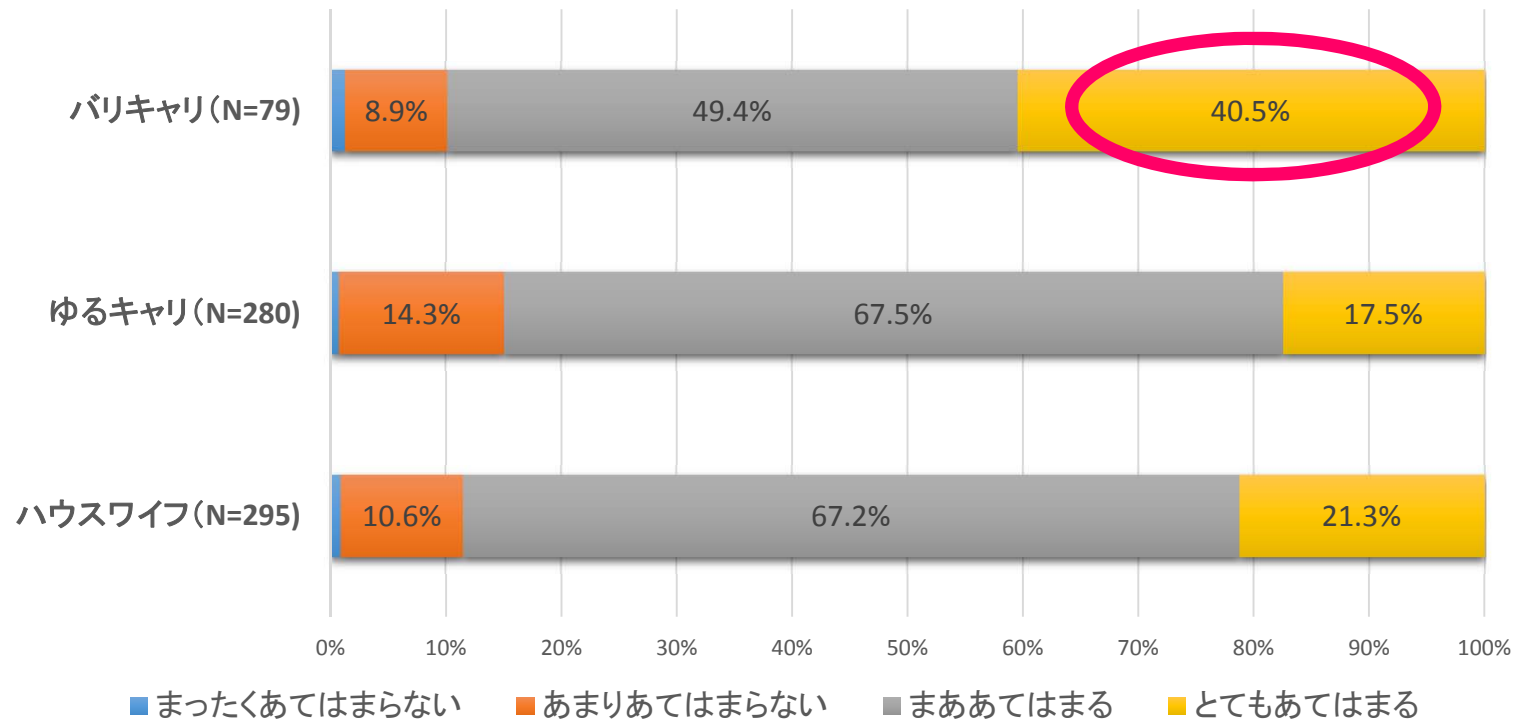
夫婦の合計収入



既婚男性の自己収入: $p=0.020$ 、既婚男性の配偶者収入: $p=0.000$
 既婚女性の自己収入: $p=0.000$ 、既婚女性の配偶者収入: $p=0.001$

バリキャリは「家族と仲が良い」割合が大きい

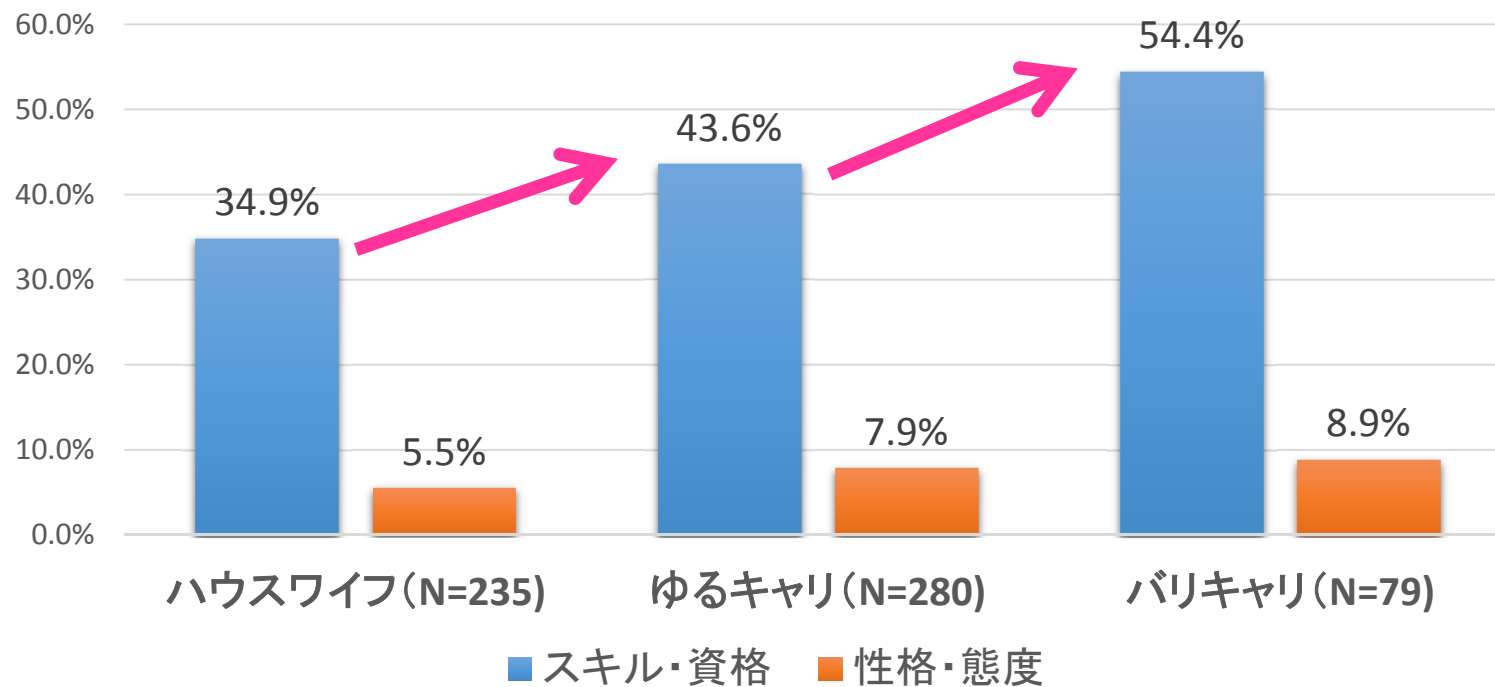
ハウスワيف／ゆるキャリ／バリキャリ別
「家族と仲が良い」度合い(既婚女性)



p=0.002

女性が仕事上の「強み」として「スキル・資格」を保持する比率

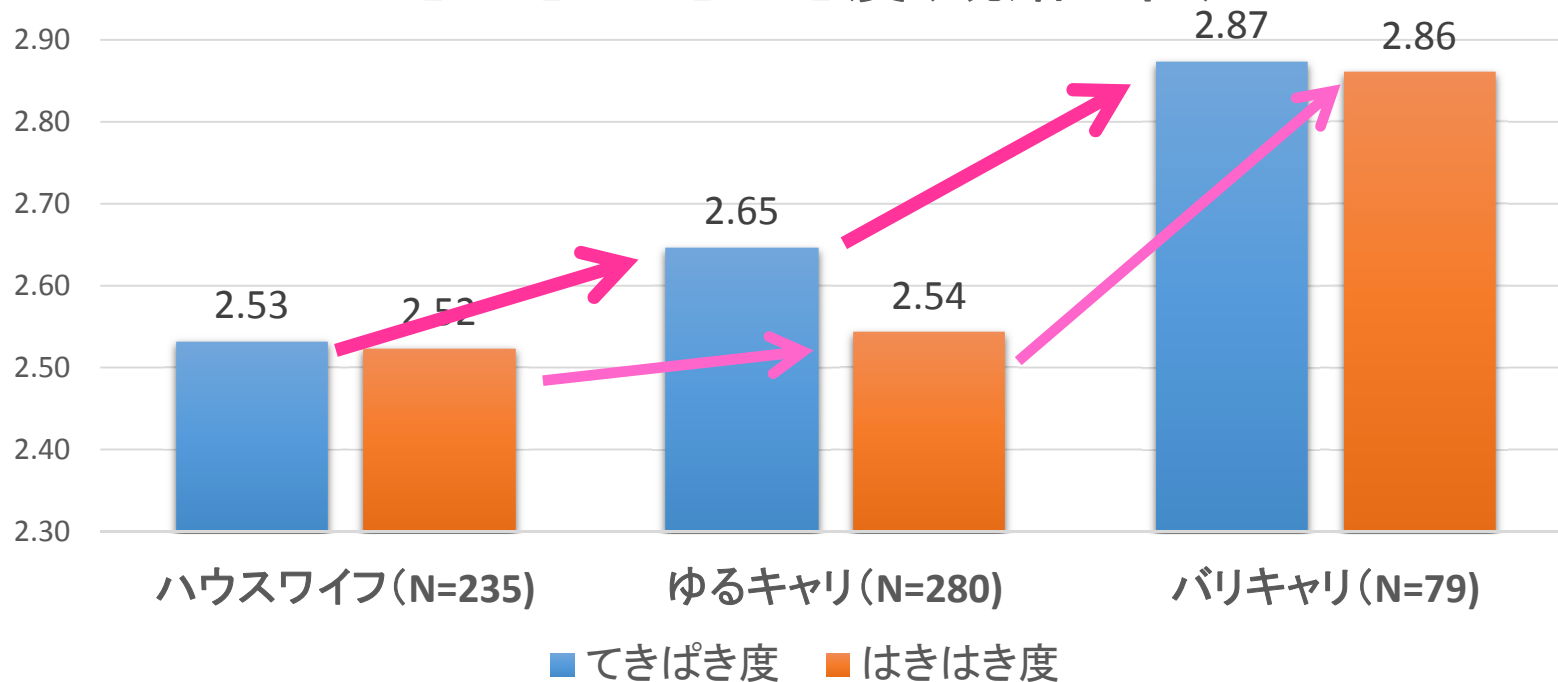
ハウスイフ／ゆるキャリ／バリキャリ別 仕事上の「強み」保持率(既婚女性)



スキル・資格:p=0.006、性格・態度:p=0.473

女性のできばき度・はきはき度

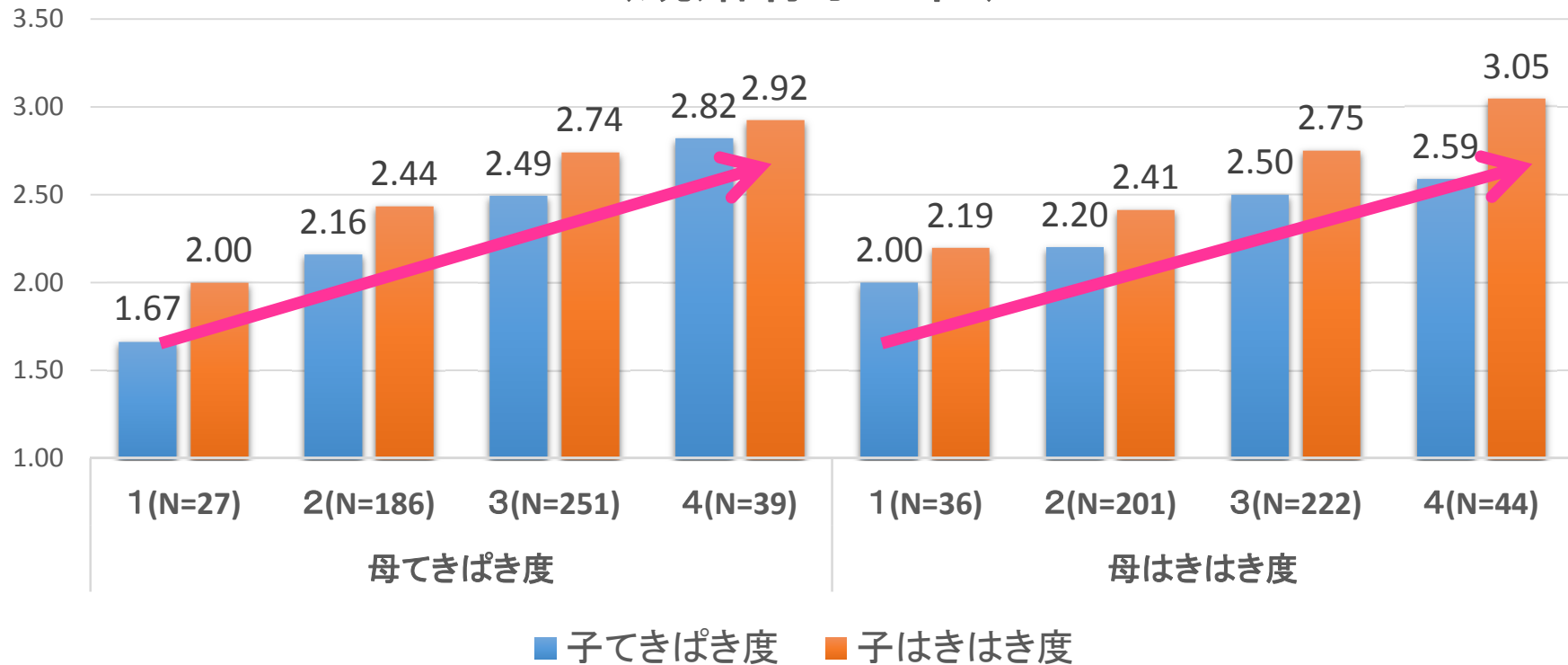
ハウスイフ／ゆるキャリ／バリキャリ別
 てきぱき・はきはき度(既婚女性)



てきぱき度:p=0.001、はきはき度:p=0.002

母親と子どものてきぱき度・はきはき度の相関

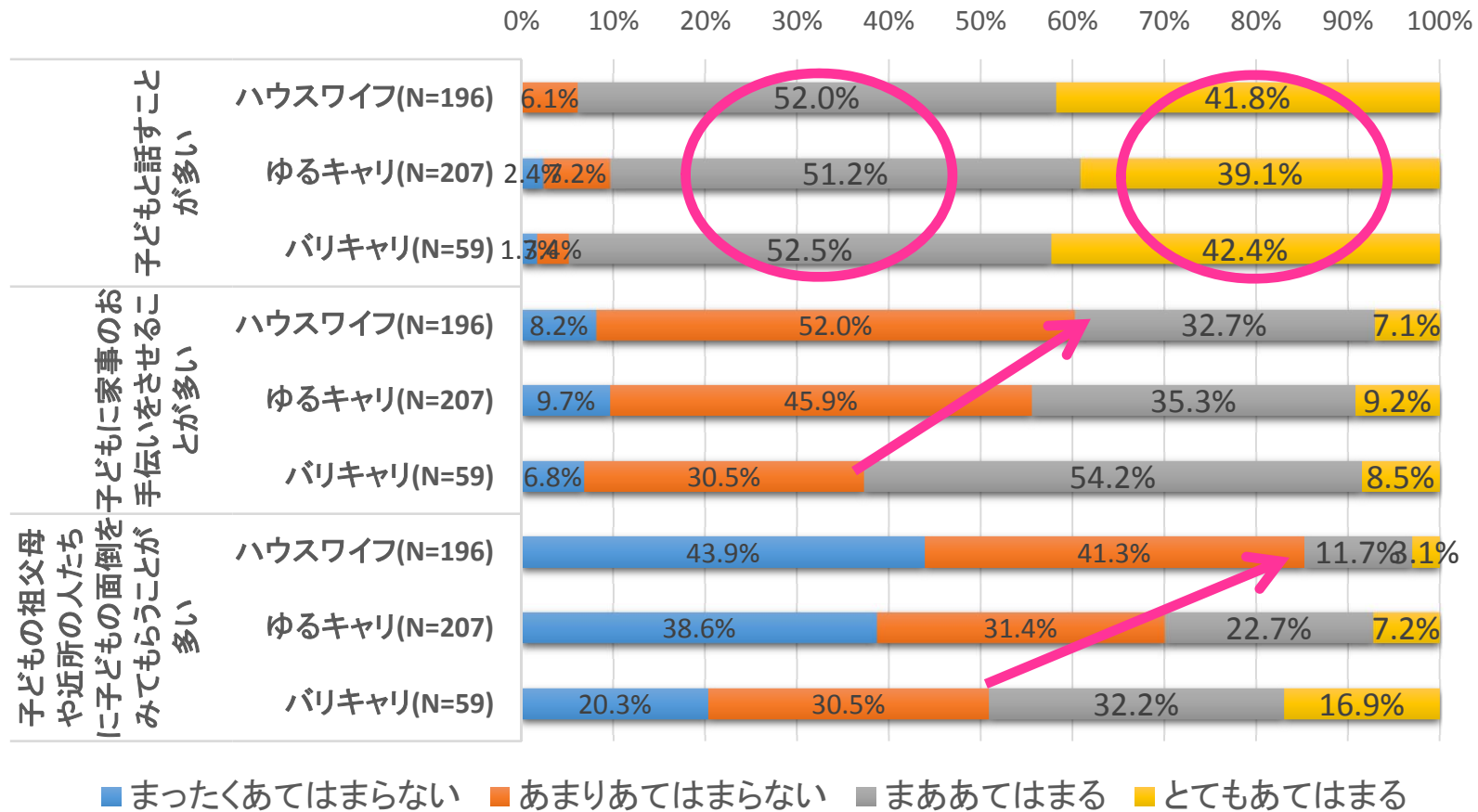
母てきぱき・はきはき度別 子てきぱき・はきはき度
(既婚有子女性)



※父親も同様の傾向。学歴を統制してもこの傾向は見られる。

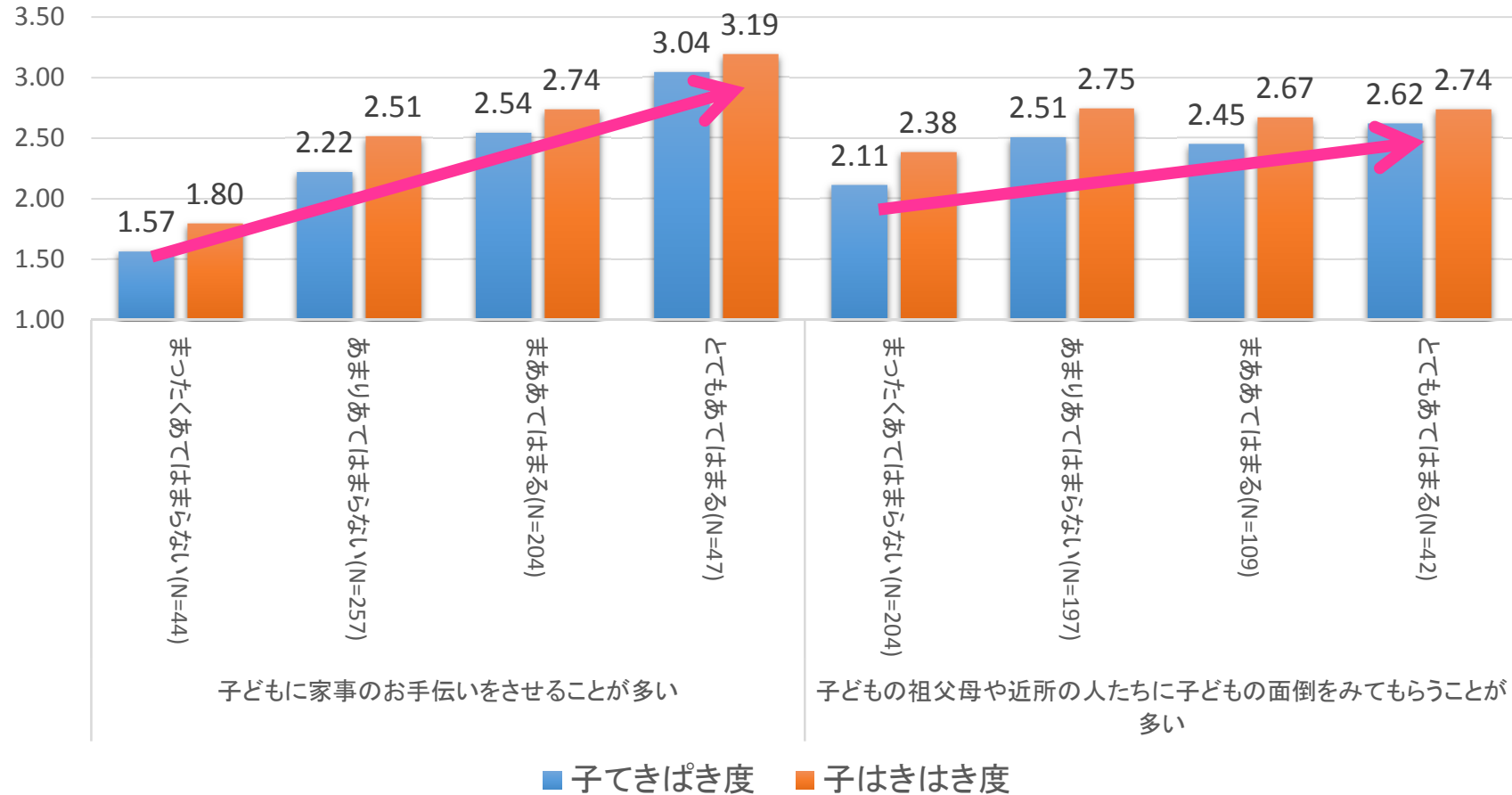
すべてp=0.000

ハウスイフ／ゆるキャリ／バリキャリ別 子どもの育て方(既婚有子女性)



話す : p=0.428、お手伝い : p=0.073、面倒みてもらう : p=0.000

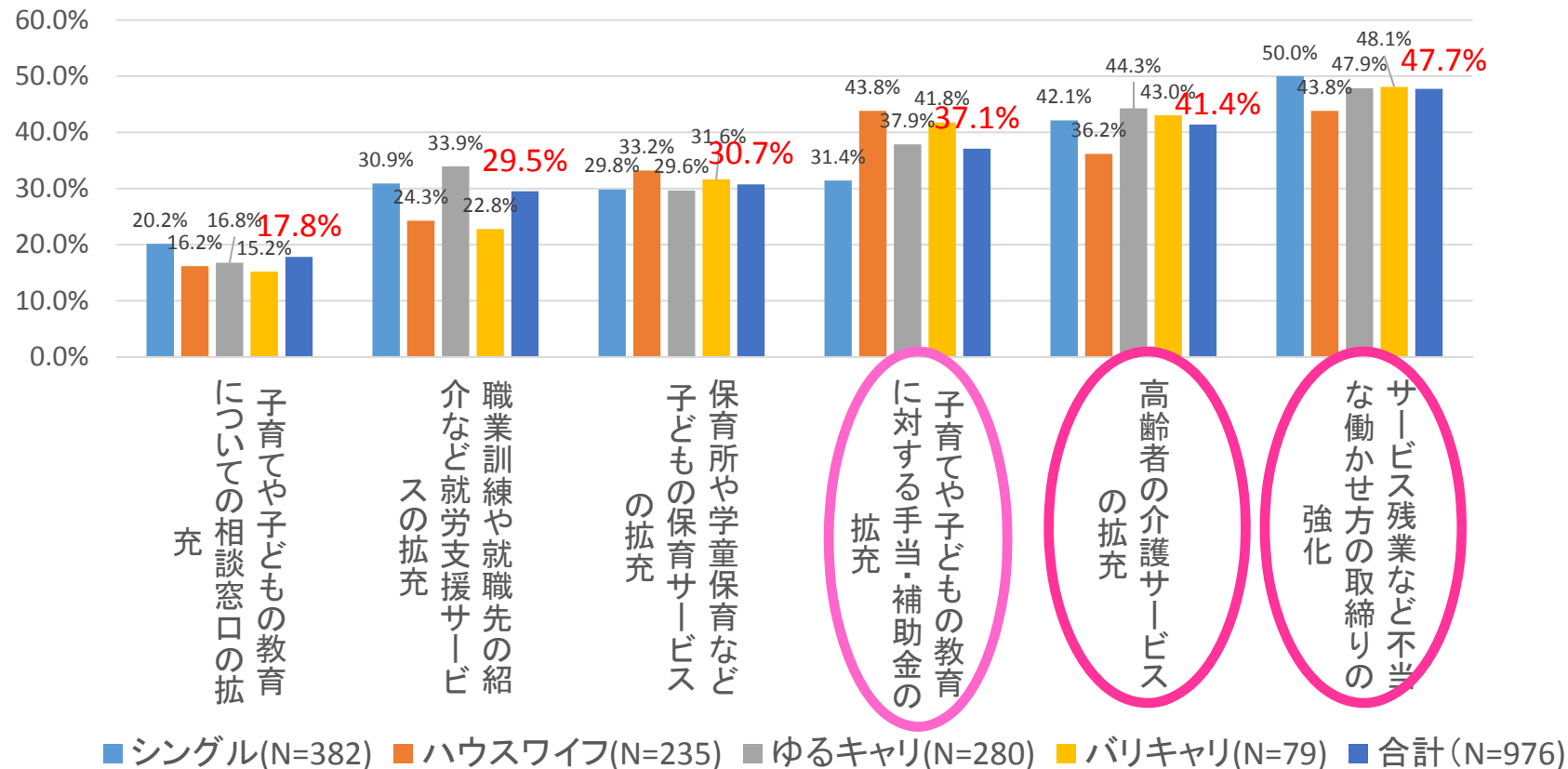
子どもの育て方別 子てきぱき・はきはき度(既婚有子女性)



すべてp=0.000

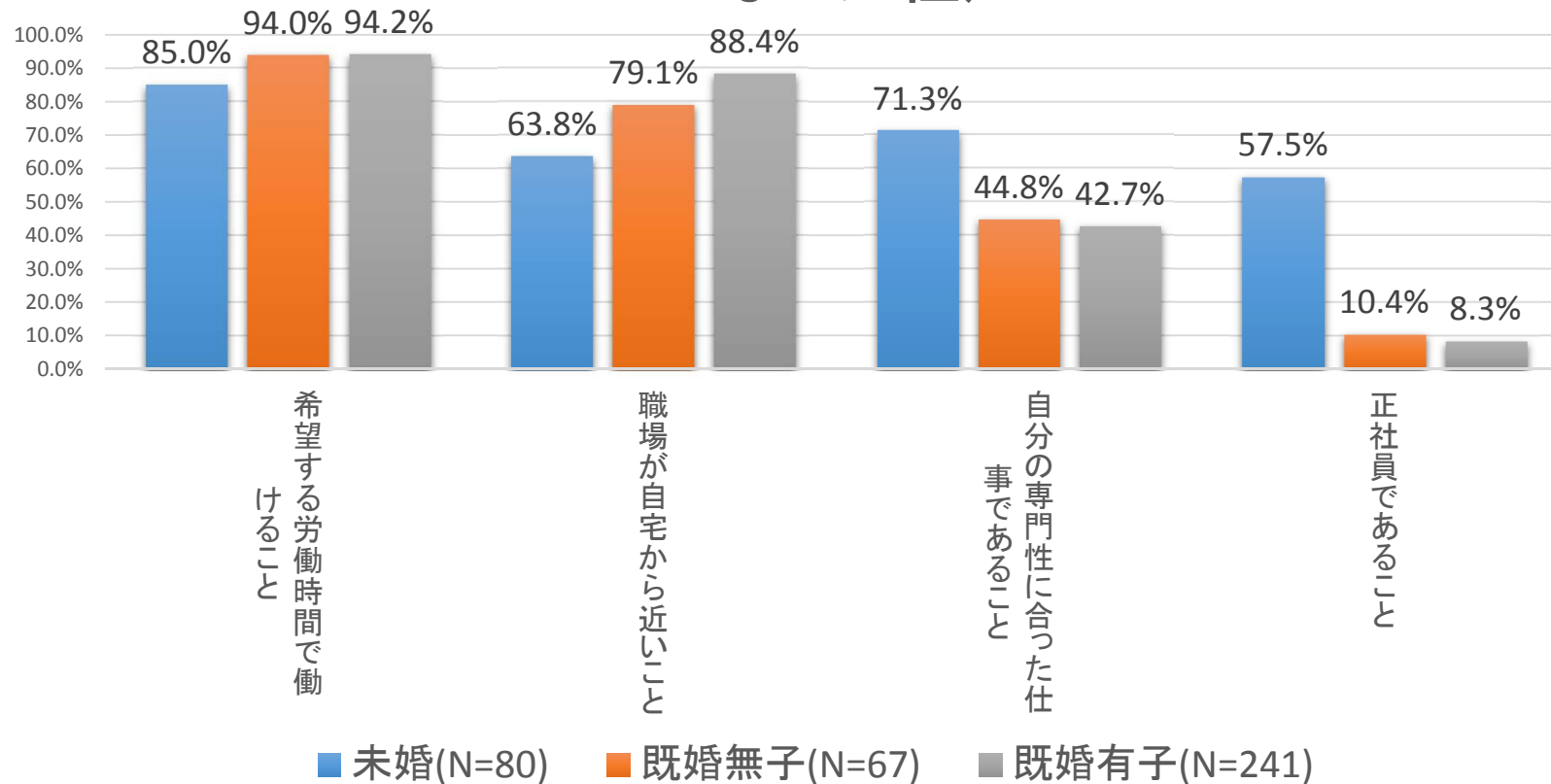
行政に対して「強く要望する」こと(女性)

シングル/ハウスイフ/ゆるキャリ/バリキャリ別



左から順にp=0.052、0.003、0.632、0.018、0.015、0.045

未婚・既婚無子・既婚有子別 仕事を始める際に重視する条件(MA、仕事をし ていない女性)



左から順にp=0.024、0.000、0.000、0.000

調査結果が意味すること

「てきぱき・はきはき」した次世代を育てることが「良い面」だとすると

「女性の社会進出」(特にバリキャリ) 「男性の家庭進出」(カジメン)

家計や家族関係の安定
子どもの自立促進(お手伝い)
子育ての社会化(親以外による子育て)の増大

次世代の「てきぱき度・はきはき度」の向上にも関連している

調査結果が意味すること

「女性の社会進出」(特にバリキャリ)に向けて

女性の職業教育訓練がきわめて重要

女性の職業能力(特にスキル・資格)の向上

「ブラック企業」の一掃を強く望んでいることも重要

個々の女性の状況に即したきめ細かい就労支援も重要

「男性の家庭進出」(カジメン)に向けて

中高年男性の意識改革がきわめて重要

障害となる「家庭と仕事の両立に理解のない中高年男性」(粘土層)の排除

プラチナ構想ネットワーク